



2021年7月30日

各位

会社名 川崎近海汽船株式会社  
 (コード番号 9179 東証第2部)  
 代表者名 代表取締役社長 久下 豊  
 問合せ先 経営企画部長 野底 康弘  
 (TEL:050-3821-1447)

### 2022年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年4月30日に公表いたしました2022年3月期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年3月期 第2四半期(累計) 連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,000	△ 300	△ 320	△ 170	△ 57.91
今回発表予想 (B)	19,800	150	150	140	47.69
増 減 額 (B-A)	800	450	470	310	-
増 減 率 (%)	4.2%	-	-	-	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	18,154	235	132	462	157.49

#### 2. 2022年3月期 通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	38,500	250	200	150	51.10
今回発表予想 (B)	40,450	850	850	610	207.80
増 減 額 (B-A)	1,950	600	650	460	-
増 減 率 (%)	5.1%	240.0%	325.0%	306.7%	-
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期通期)	37,059	404	187	△ 112	△ 38.47

#### 3. 修正の理由

当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえて、最新の燃料油価格想定や足元の荷動き想定に基づき見直しを行った結果、第2四半期累計期間の連結業績予想は、内航部門では、荷動きは堅調に推移すると見込まれるものの、燃料油価格の上昇が予想されることから収支は前回発表予想並みとなる一方で、近海部門では、市況の回復に伴い運賃や貸船料が増加し、収支は前回発表予想を大きく上回る見

通しであることから、売上高、営業利益および経常利益につきましては前回発表予想を上回るものと予想し、上記のとおり修正いたしました。

通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として一定程度継続すると想定されるものの、第2四半期累計期間同様に、内航部門では、収支は前回発表予想並みとなる一方で、近海部門では、足元の好調な市況が継続することが見込まれることから、上記のとおり修正いたしました。

なお、修正にあたり前提条件を次のとおりに見直しております。

「第2四半期以降」為替レート：1ドル＝110円（前回公表時108円）

燃料油価格：70,200円/KL（前回公表時58,800円/KL）

（注）上記の業績予想は、当社が現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以上